

コレクション特別企画

生誕110年 松田正平展

2023年 10月13日(金) - 12月3日(日)

独特の透明感あふれる作風で、白洲正子や山田洋次などの著名人にもファンの多い洋画家、松田正平（1913-2004）。画家の生誕110年を記念して、その画業を幅広くご紹介します。東京美術学校時代から戦前のパリ留学、戦後の模索、そして晩年の軽やかな作品まで、今も人々を引き付けてやまない松田正平の世界をお楽しみください。

松田正平《バラ》1980-90年代 油彩/カンヴァス 山口県立美術館



香月泰男とシベリア・シリーズ I~III

2023年 [I] 4月4日(火) - 6月25日(日) | 2024年 [III] 1月18日(土) - 3月31日(日)
[II] 7月15日(土) - 9月24日(日)

シベリア・シリーズを中心に、香月泰男（1911-74）の創作活動を3回の展示で紹介する年間企画。太平洋戦争とシベリア抑留を経て“シベリア様式”を確立するまでの過程をたどる第1回の展示から、香月が体験した戦争と抑留を、シベリア・シリーズを通じてご覧いただく第2回、そして最晩年の多様性に満ちた創作活動にスポットを当てる第3回まで、戦後の洋画史に確たる地歩を築いた香月泰男の魅力をご紹介します。



香月泰男《ダモイ》1959年 油彩/カンヴァス 山口県立美術館

生誕150年 永地秀太展

2024年 1月18日(土) - 3月31日(日)

(※2月15日(木) - 22日(木)は県美展準備のため休室)

下松市に生まれた永地秀太（1873-1942）は、太平洋画会の創立（1902年）に深くかわかり、文展や帝展で活躍した画家です。生誕150年を迎えた永地の画業を、前年度に修復を終えた作品と新たに寄贈された作品も含めて紹介します。

永地秀太《しほり》1913年 第7回文展 3等賞受賞



令和5年度 県立美術館メンバーズクラブ会員の募集

山口県立美術館 4/4(火)より受付開始!!

※ 山口県立美術館・浦上記念館での受付は4月1日(土)からです。

山口県立美術館と山口県立萩美術館・浦上記念館では、両館で開催する展覧会等をおして美術に広く親しんで

いただき、地域文化向上へ寄与することを目的として、2館共通のメンバーズクラブ会員を募集いたします。このたび、お客様のご利用状況や昨今の社会情勢等を踏まえ、サービス内容及び会費を見直しさせていただきます。詳細は当館HPでご案内いたします。皆さまのご入会をお待ちしております。

有効期限 令和5年4月1日(土) - またはご入会日

※18歳以上と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。

※障がい者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。
※令和5年(2023年)度メンバーズクラブ会員およびキャンパスメンバーズ加盟校の学生と教職員の方、法人サポーターズ会員の方は無料。

特別展ほか:別途定めた料金

令和5年度 県立美術館メンバーズクラブ会員の募集

山口県立美術館 4/4(火)より受付開始!!

山口県立美術館と山口県立萩美術館・浦上記念館では、両館で開催する展覧会等をおして美術に広く親しんで

いただき、地域文化向上へ寄与することを目的として、2館共通のメンバーズクラブ会員を募集いたします。このたび、お客様のご利用状況や昨今の社会情勢等を踏まえ、サービス内容及び会費を見直しさせていただきます。詳細は当館HPでご案内いたします。皆さまのご入会をお待ちしております。

有効期限 令和5年4月1日(土) - またはご入会日

※18歳以上と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。

※障がい者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。
※令和5年(2023年)度メンバーズクラブ会員およびキャンパスメンバーズ加盟校の学生と教職員の方、法人サポーターズ会員の方は無料。

特別展ほか:別途定めた料金

2023 - 2024

schedule

山口県立美術館 令和5年度展覧会スケジュール

	コレクション展示	特別展示
4月	4/4(火) - 6/25(日) 《香月泰男とシベリア・シリーズI》 “シベリア様式”の確立	4/4(火) - 6/25(日) 「奇」を撮る
5月	4/4(火) - 5/14(日) 奇なる日本画 -風景-	4/14(金) - 6/11(日) 特別展 佐藤健寿展 奇界/世界 ファーストマンデー 5/1、6/5
6月	5/16(火) - 6/25(日) 奇なる日本画 -人物・動物-	全館休館 [6/26(月) - 7/14(金)]
7月	7/15(土) - 8/20(日) 松林桂月 -墨と色が織りなす美-	全館休館 [6/26(月) - 7/14(金)]
8月	8/22(火) - 9/24(日) ファンタジック・カチューズ -没後50年 福田翠光	7/15(土) - 9/24(日) 特別展 ジブリパークとジブリ展 ファーストマンデー 8/7、9/4
9月	休室	全館休館 [9/25(月) - 10/12(木)]
10月	10/13(金) - 12/3(日) 新指定・重要文化財紹介 雪舟と雲谷派	10/13(金) - 12/3(日) 毛利博物館所蔵「源氏物語絵巻」 -はじめて出会う「源氏物語」(仮)
11月	10/13(金) - 12/3(日) パノラマ 山水長巻	10/13(金) - 12/3(日) 生誕110年 松田正平展 ファーストマンデー 11/6
12月	全館休館 [12/4(月) - 2024年1/17(水)]	全館休館 [12/4(月) - 2024年1/17(水)]
1月	1/18(木) - 2/14(水) 江戸時代の動物画 森派の作品から	1/18(木) - 1/21(日) 第76回山口県学校美術展覧会
2月	1/18(木) - 3/31(日) 生誕150年 永地秀太展	全館休館 [2/15(木) - 2/22(木)]
3月	2/23(金) - 3/31(日) 大正ロマンの前衛画家 玉村方久斗	3/7(木) - 3/24(日) 第76回山口県美術展覧会

新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、本展(会期・入場方法等)および関連イベントは変更になる場合がございます。ご来館の際は、当館ウェブサイトにて最新の情報をご確認ください。

Information

■休館日 月曜日 ※祝日・休日、特別展開催中の第1月曜日(ファーストマンデー)は開館。

臨時休館 4月1日(土)~3日(月)、6月26日(月)~7月14日(金)、9月25日(月)~10月12日(木)、12月4日(月)~2024年1月17日(水)、2月15日(木)~22日(木)

■開館時間 9:00~17:00(入場は16:00まで)

■料金 コレクション展:一般300円 学生200円

※18歳以下と70歳以上および高等学校、中等教育学校、特別支援学校に在籍の方等は無料。 ※障がい者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。

※令和5年(2023年)度メンバーズクラブ会員およびキャンパスメンバーズ加盟校の学生と教職員の方、法人サポーターズ会員の方は無料。

特別展ほか:別途定めた料金

Twitter

Instagram

HP



山口県立美術館の公式アカウントはこちら



山口県立美術館
Yamaguchi Prefectural Art Museum
〒753-0089 山口県山口市亀山町3-1
TEL: 083-925-7788 FAX: 083-925-7790
https://www.yma-web.jp/

Yamaguchi Prefectural Art Museum

139

Contents

コレクション展

特別展

佐藤健寿展 奇界/世界
ジブリパークとジブリ展

コレクション特別企画

生誕110年 松田正平展

香月泰男と
シベリア・シリーズI~III

生誕150年 永地秀太展

メンバーズクラブ会員募集
年間スケジュール

山口県立美術館ニュース「天花」

天花

TENGE

Collection

コレクション展

新指定・重要文化財紹介 雪舟と雲谷派

2023 10月13日(金) - 12月3日(日)

表紙作品解説

雲谷等益 《雪舟等楊像》

江戸時代・17世紀前半

常栄寺蔵(山口県立美術館寄託)

歴史や美術の教科書などで、この肖像画を一度は目にしたことがあるかもしれません。日本絵画史を代表する室町時代の画僧・雪舟(1420-1506?) 71歳の肖像です。

ただしこの絵は、雪舟が弟子の秋月に与えるために描いた自画像をもとに、雲谷等益(1591-1644)が写したものと考えられています。等益は江戸時代、雪舟の画風を継いで、萩を拠点に活動した雲谷派の2代目です。

絵の上部の賛文は、等益の没後に京都・大徳寺の高僧、玉丹宗璠によって記されたもの。同じく、等益の長男で3代目を継いだ等與(1612-68)も家督相続の年に雪舟の肖像画を描き、大徳寺の天祐紹果に「雪舟から5代目の画家]であると賛文に記してもらっています。当時、日本を代表する禅僧に賛文をもらうことで、雲谷派が「雪舟流の正しい継承者」であることを権威づけたかったのでしょう。

今年、この「雪舟から雲谷派の系譜」が顕彰され、等益作と等與作2つの雪舟像がそろって重要文化財に指定されることになりました。さらに等益による雪舟筆《四季山水図(山水長巻)》(国宝・毛利博物館蔵)の模写作品、雲谷派の祖・等顔が常栄寺3代目住職を描いた《惟松円融像》とあわせ、「雲谷派の4作品」が重要文化財になることを記念し、今秋、一堂に紹介します。当館の雪舟・重要文化財3点および雪舟関連作品とともに、ぜひご覧ください。

(山口県立美術館 普及課主査 福田善子)



雲谷等益 《雪舟等楊像》 江戸時代・17世紀前半 常栄寺蔵(山口県立美術館寄託)

山口県立美術館ニュース「天花」第139号 令和5年3月発行

編集 指定管理者サンポート・パブリシティ・インタービズグループ 発行 山口県立美術館 印刷 藤野社写真印刷株式会社

特別展 yab山口朝日放送開局30周年記念

KENJI SATO 佐藤健寿展 奇界/世界 WONDER / MICROCOSM

会期 2023年 4月14日(金) - 6月11日(日)

休館日：月曜日(ただし、5月1日、6月5日 **ファーストマンデー** は開館)

観覧料

一般 1,500 (1,300) 円、シニア・学生 1,300 (1,100) 円

◎コレクション展セット券(当日券のみ) 一般 1,600円、学生 1,400円

- *シニアは70歳以上の方、()内は前売りおよびオンラインチケットの料金。
- *高等学校、中等教育学校、特別支援学校在籍の方等は無料。
- *障害者手帳等をご持参の方とその介護の方1名は無料。
- *前売り券は、ローソンチケット(Lコード63654)、セブンチケットでお求めください。オンラインチケットの購入については、佐藤健寿展公式ウェブサイトまたは当館ウェブサイトをご覧ください。

主催 山口県立美術館、yab山口朝日放送、朝日新聞社
協力 国立民族学博物館、ダイヤミック/ピクトリコプリント工房、フレームマン
協賛 株式会社トクヤマ **特別協力** エフエム山口



《エルタ・アレ/エチオピア》2015年



《ネバダ/アメリカ》2019年

世界120カ国以上を巡り、ありとあらゆる“奇妙なもの”をカメラに収めてきた写真家・佐藤健寿(1978-)。人類が創造した多様な文化や文明、自然が生んだ奇景など、その作品は見る人に多くの驚きと発見を与えます。しかし、世界中に散らばる“奇妙なもの”を見ていくうちに、それらが現地の人々にとっては、日常にある“普通のもの”であることに気づかされます。私たち一人ひとりにとって“奇妙”とは、そして“普通”とはなにか? 「奇界」を内包するこの「世界」の様々な姿をとおして、佐藤の写真は、素朴で根源的な問いを投げかけます。

本展では、大ヒットとなった写真集『奇界遺産』シリーズや、膨大な旅の記録を振り返った最新刊『世界』に加えて、国立民族学博物館所蔵の民俗資料、そして新型コロナウイルス感染症の流行後はじめての撮影となった2022~23年の最新作まで、200点あまりを一室に展示します。



© Studio Ghibli © Kanyada

会期

2023年 7月15日(土) - 9月24日(日)

休館日：7月24・31日(月)、8月21・28日(月)、9月11日(月)

観覧料

本展覧会は事前予約制です。 購入方法等詳細は展覧会特設サイト等にてお知らせいたしますので、そちらをご確認ください。

一般 1,600円、シニア・大学生 1,400円、小中高生 500円

- *シニアは70歳以上の方
- *未就学児および特別支援学校在籍の方等は無料。
- *障害者手帳等をお持ちの方とその介護の方1名は無料。

主催 山口県立美術館、KRY山口放送、読売新聞社 **協賛** DNP大日本印刷
企画制作協力 スタジオジブリ/三鷹の森ジブリ美術館/ジブリパーク

展覧会特設サイト



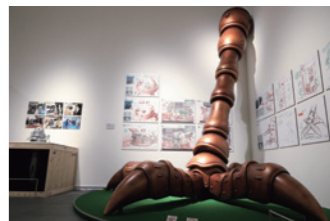
ネコバスに乗って、ジブリパークの世界へ。

ジブリパークの「どんどこ森」にあるサツキとメイの家が、1/5スケールで登場!



これまで、数々のアニメーション作品によって人々の心を動かし、幅広い世代から支持されるスタジオジブリ。2022年11月1日、そんなスタジオジブリ作品の世界を、来園者が自ら歩き発見していく公園施設「ジブリパーク」が愛知県に第1期開園しました。制作現場を指揮するのは宮崎吾朗監督。これまで、「サツキとメイの家」(2005年)などの建築をてがけ、『アーヤと魔女』(2020年)などのアニメーション作品を生み出してきました。

この展覧会では、宮崎吾朗監督のこれまでの仕事を振り返るとともに、監督を中心にジブリパークがどのように生み出されたのか、その舞台裏をご紹介します。



ジブリパークとジブリ展

© Studio Ghibli

映画『千と千尋の神隠し』のワンシーンで、主人公の気分を味わって。

たくさんの制作資料や模型から、ジブリパークのつくりかたをのぞいてみよう!

映画『千と千尋の神隠し』の湯婆婆の執務姿の再現。

宮崎吾朗監督自解説! 『アーヤと魔女』

©KENJI SATO

《マトリョーシカ・ホテル/中国》2018年



《ガーコン/インド》2017年



《ネネツ/ロシア》2017年



《金剛宮/台湾》2009年